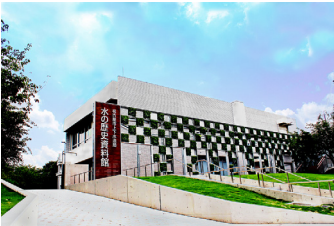
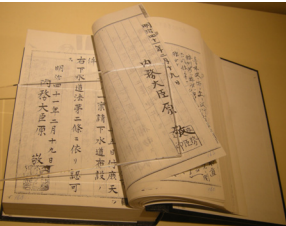




平成28年度「GKP広報大賞」エントリーシート

エントリーする団体名の名称 名古屋市上下水道局		担当者氏名、所属、連絡先【電話、Fax、E-Mail】 中村 一登（調査課） 電話 052-972-3713 FAX052-951-1208 chosa@jogesuido.city.nagoya.lg.jp	
代表者氏名 名古屋市上下水道局長 丹羽 吉彦		担当者氏名、所属、連絡先【電話、Fax、E-Mail】	
(他薦の場合) 上記団体を推薦する団体の名称		担当者氏名、所属、連絡先【電話、Fax、E-Mail】	
部門名 行政広報部門	事例名 水の歴史資料館		
事例の概要 水の歴史資料館は、平成26年9月にオープンした、上下水道事業の歴史や役割、そして防災についてわかりやすく学べる資料館です。本資料館は、広報的な役割に加え、事業関係資料やモノを収集・整理することにより、貴重な資料が散逸することを防ぐ役割も担っています。			
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>外観</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>下水道布設認可書 認可稟請書</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>戦争中のマンホール</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>雨水ポンプインペラ</p> </div> </div>			
下水道に関する主な展示			
① 享保14年名古屋絵図 ※複製 享保14年（1729年）の名古屋城下図です。生活排水の流路などが描かれています。			
② 下水道布設認可書・認可稟請書（明治39年） ※複製 認可を求める稟請書です。当時の内務大臣である原敬の名前が確認できます。			
③ 堀留下水処理場大要（昭和5年）※複製 日本で最初の「活性汚泥法」による下水処理場の処理過程を図で示しています。			
④ 太平洋戦争中に造られたマンホール 「下水」の大きな文字が特徴的なマンホールです。			
⑤ 雨水ポンプインペラ（昭和9年） 雨水を川に排出するために使用していたインペラ（羽根車）です。			
エントリー事例の特徴			
<ul style="list-style-type: none"> ・名古屋における下水道インフラの役割について、近世の生活排水処理、近代下水道の供用開始、活性汚泥法の導入などによる発展、そして現在の災害対策などについて、歴史を追いながらわかりやすく学んでいただくことを通して、下水道の重要性をPRしています。 ・下水道の魅力が実感をもって伝わるように、映像やパネル展示に加えて歴史的な資料やモノも展示しています。 ・下水道と水道の歴史や役割を一体的に学んでいただくことで、水循環全体の中における下水道の役割がより伝わりやすくなっています。 ・TOTO株式会社にトイレの命名とトイレ内での製品PRの権利を提供する代わりに、トイレ用設備の提供と内装デザインへの協力を得ています。こうして創出した快適なサニタリースペースの利用を通して、下水道インフラが支える快適さを実感していただくことができます。 			
付属資料の提出	あり ・ <u>なし</u> （どちらかに○）		